

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	個人人生観や意見などを尊重する事を理念に取り入れ、取り組んでいるが地域の中に溶け込んだ支援が実現できているとは言いがたい	○印 (取組んでいきたい項目)	週に一度、食材買出しへ近くの八百屋へ行き買い物を楽しんだり、近隣の施設へ行き顔見知りの方への面会などして楽しまれている。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月ごとのケース会議などを通して、ホームの理念などを確認している。また、年度ごとのホームの目標などはスタッフ間で話し合いホーム運営の方向性を決めている	○印 (取組んでいきたい項目)	風の詩の理念を日々のケアの中で気付き理念を再確認する機会を設けていきたい
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入所契約時や面会時などに、本人様と家族、地域とのかかわりをホームでも継続して行えることを説明しており、ご家族に関しては外出、外泊なども随時行える状況にある。地域の方に対しては近隣の方が若い世帯の方であったり、住居もあまりないので難しい環境にある	○印 (取組んでいきたい項目)	地域の方にホームがどういった施設であるか理解して頂けるように努力していきたい
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方に昼間在宅されている方がなく、近所付き合いといった点では難しい環境にある		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	現在、自治会等に加入は出来ていないが、地域の生き生きサロンなどに参加できている。また、近隣施設との交流はできている	○印 (取組んでいきたい項目)	自治会への入会を検討してみる。生き生きサロンについては今後も交流をしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ホーム敷地内にデイサービスセンターや特老などがあり、利用者間の交流もあるので、在宅高齢者の方のご家族より施設利用の相談等があった場合は、サービスや施設の紹介などのアドバイスを行っている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前年度の外部評価結果などを参考に、ケアを見つめなおし改善に取り組んでいる		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で出たアドバイスを職員へ報告し、地域ではどのような事へ取り組んでいるかを報告し「生き生きサロン」への参加を行えるようになった		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村からの調査などには協力している。運営推進会議で情報交換できている。	○印 (取組んでいきたい項目)	困難事例やホームでの課題を気軽に相談できるような関わりを今後も出来るようにしていきたい。市町村からの依頼等にも随時対応していきたい
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	後見人制度を利用されている方が一名いらっしゃるが、理解が充分出来ているとは言いがたい	○印 (取組んでいきたい項目)	今後は制度の仕組みや手続きなどの紹介が出来るようにしていきたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内の規定にも記載があり、法人で行っている社内研修でも教育を受け、スタッフの周知は図れている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に、重要事項説明書兼契約書を提示し内容の説明と個人情報の取り扱い方、入院や退所時などホームでの対応方法や利用者の権利等の説明を行っている。また後日、不明な点などが出てきた場合などにはその都度相談を受け対応している	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者より不満や苦情などがある場合は、申し出られる事が多くその場で対応している。また家族の面会時には利用者様の自室での面会を基本としており、その際にはスタッフも立ち入らず利用者様が家族等へ不満を話せるようにしている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、利用者様の状況報告や金銭の収支、連絡事項などの書類を作成し家族宛に発送している。また必要時にはその都度電話連絡などを行い状況報告に勤めている	○印 (取組んでいきたい項目)
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付の冊子や意見箱などを設置し、苦情受け付け機関、苦情処理委員会の設置をしている旨の掲示をしているが、現在の所苦情は聞かれていない	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月勉強会を実施しており、ホーム運営についても意見が言えるようにしている。また勉強会以外の場合でも気付いたときに随時意見があれば受付ており経営者に相談できる状態になっている	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者やご家族の状況に合わせ、勤務の調整は可能であり、必要な人数の確保は出来ている。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	本年度は職員、利用者共に異動、退所等が多く環境の変化がみられた為利用者様が不安を感じられる事が多くあったように見受けられる	○印 (取組んでいきたい項目) 職員間の異動についてはマニュアルを活用し一定のサービスが提供できるように努める。利用者様については、個々の特徴を早期に把握しニーズに対応していけるように努力していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な勉強会のほか、法人内研修に参加をしてもらい、外部講師の話聞く機会を設けたりしている	○印 (取組んでいきたい項目) まだまだ外部研修への参加が積極的に出来ていないので、参加を促していきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在はいずみ川内グループホーム協議会に在籍中であり、講演会や交流会などに参加している。また、近隣のグループホームとの交流もあり、困難事例などは相談できる環境ある	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	スタッフ間で気軽に話し合いができる状況にあり、勤務交代等も制限を設けていないので、少ないスタッフでもストレスが少なくなるような環境になっていると思う	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	スタッフは意欲的に業務に取り組んでおり、ケアの内容等についても意見や工夫が見られている。勉強会などのほか随時意見は言える状況である	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者様本人からの意見を聞くようにしているが、初期に関しては家族からの要望が中心になっていることが多いと感じる	○印 (取組んでいきたい項目) 家族の意見も大事ですが、利用者様の意見・要望が十分に反映されたケアが提供できるように努めていきたい
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所当初は、遠慮なさってあまり要望等を出されなご家族の方も次第にホームスタッフになじみを持ってくださり、ケアに対しての意見や世間話を気軽にしてくださるようになっていく。またスタッフは忙しくてもご家族様より意見等がある場合は対面し聞き入れるように努めている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様やご家族が望まれているケアを考慮し、その日の利用者様の様子に合わせて散歩など余暇活動の充実に努めている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所当初の間は家族への面会や電話対応などをお願いしホームでの生活に徐々に馴染めるよう協力を得ている。また介護計画の定期的な見直しを行い、勉強会などでも随時利用者様の状況と反映させている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に食事やお茶の時間などを過ごし、利用者様から意見を仰いだり、教えて頂くこともあり共に一日を楽しく過ごしている		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会に来られたご家族の方の中には、スタッフとの交流を楽しみにこられる方もいらっしゃる一緒にレクリエーションや雑談を楽しまれる方もいらっしゃる良い関係作りが出来ていると考えている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族からは入所前の大変な思いを聞かせて頂く機会もあり、入所後の利用者様が穏やかにされる事で、利用者様とご家族との距離が上手く保てるようになってきたという意見を頂いている。また面会時に優しい声掛けができるようになってきたと喜んでくださっている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前入所されていた方や知人のいるデイサービスや老人保健施設や老人ホームなどの近隣施設やいきいきサロンなどにお連れしている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者間でも好まれる方好まれない方がいらっしゃるので席の配置や利用者間の言動に気を配り良好な関係が保てるように見守りをおこなっている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所された利用者の方についても機械があれば面会に出かけたりしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で、利用者様の希望を汲み取れるように努力しており、本人様が「どうしたい」と訴える場合は可能な限り実現できるようにしている。意思表示をされない方についてはご家族より意見を聞くようにしている		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時や家族の面会時などに話を聞いたり、普段の生活の中での言動などより把握に努めている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者様の好むすごし方を把握するように努めており、日々の言動からどうしたいのか？をスタッフは常に考えるようにしている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプラン立案の時点ではケアマネがアセスメントから立案まで行っており、立案後にスタッフの意見を聞く状況であるがスタッフからの意見はあまり出てきてない。またケアプランに対する勉強会を実施したものの理解が充分できていなかった。	○印 (取組んでいきたい項目)	再度ケアプランに対する勉強会を実施し、より深く理解を求めていきたい
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しのほか、状況の変化等でもプランの見直しを行うようにしている。またご家族からの要望等がある場合もそれに即したプランに変更するようにしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録を毎日とっており、特記事項や申し送りが必要な事柄については、別紙の申し送り記録用紙に記入しスタッフ全員で情報を共有できるように工夫している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者様やご家族の要望に応じて、外泊や外出など柔軟に対応させていただいているほか、病院受診なども必要に応じて行っている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人と地域へのつながりが途切れないように、定期的に外出を促し地域の方との交流を図るように努めている		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他施設のケアマネジャーとの情報交換は行われている。また本年度から訪問看護との契約を行い医療面でのケアの充実が図られている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	入所申し込みや、認定調査などでの情報交換などの交流はあるが連携が十分とはいえない	○印 (取組んでいきたい項目)	今後地域支援センターとの協力関係を作っていきたいと思う
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診があり、利用者様の状況杜うに合わせて、利用者様の状態に緊急性がある場合などは訪問看護と連絡を取り必要に応じては病院受診を行い、健康管理に努めている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>かかりつけの病院に専門医がおり、対応できている</p>	
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>訪問看護と契約しており、週に一度のバイタルチェックや緊急時の対応などで利用者様の健康管理を行っている</p>	
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院時は病院のソーシャルワーカーと情報を共有し、早期退院に向けての情報交換を行っている</p>	
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>異常時には早期に病院受診を行い、家族への報告は随時行っている。重度化した場合や終末期の方に関しては家族と相談の上、退所先などを検討している</p>	
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>終末期の利用者に対しては、医師の判断を仰ぎ、家族と協議の上入院または退所の方で話をしている。また退所に際しては病院または施設への入所の手続きの補助を実施している</p>	
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>他施設へ入所される場合などは、情報提供記録を作成し渡している。また入所後は施設訪問などを行い他施設入所後の様子伺いを行っている</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>利用者の方が好む話しかけ方をしており、日々の関わり方を勉強会や日常的に話し合う機会を設け実践している</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> <p>利用者に合わせた話し方を行い、訴えがある場合などは個々に合わせた対応をしている。また不安そうな表情をされているときなどは声をかけたり寄り添い対応している</p>		
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> <p>利用者様の希望に添って提供されるように努力しているが充分とは言いがたい</p>	○印 (取組んでいきたい項目)	園外活動の時間など調整できる点では調整をし利用者様の望む時間に望むサービスを提供できるように工夫していきたい
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> <p>出来る限り本人様が好む着衣を着ていただけるように本人様に好みの物かを確認したり、時には家族の要望も聞き入れてスタッフが支援している</p>		
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> <p>季節の物を食事に取り入れたり、利用者様に食べたい物を聞いたりしているほか、食事の準備や片付けなど一緒に行っている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> <p>ドクターストップがない限りは本人の嗜好品を楽しめるように支援している</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々に合わせたトイレ誘導を行い、個々にあった排泄道具を検討し利用している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	以前は入浴日を固定していたが、本年度より日曜日以外を入浴日とし、本人様の気分に合わせて入浴できるよう支援している		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人様が自室での休息を望まれる場合はそうしていただき、本人の好む場所で休息が取れるように支援している		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者様の特徴を捉え、掃除や洗濯、食事など得意な分野で活躍して頂けるように支援している。また好みの活動に参加して頂き気分転換を図って頂けるような関わりを持っている		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物の際には、本人さま用の財布を準備し買い物をしていただくようにしている。またお金を持っていたいといわれる利用者様については家族に了承を得た上で本人様に管理して頂いている		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の方から希望されての外出といった機会は少ないが、ドライブや散歩といった戸外活動に声をかけ希望がある場合にはお連れするようにしている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	時期に合わせた行事を企画し花見などは家族にも参加頂いたが、雨のため苑での実施となった。他に日常的に公園にでかけたりしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人からの要望がある場合には、ホーム側より電話をかけたり、かかってきた場合にも取り次ぎ本人様に話をさせていただくようにしている		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会者の方が来られた際には、希望する場所(自室やロビー)でお茶を飲みながらゆっくり面会できるようにしている		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアをスタッフは充分理解しており、不穏行動などがある場合は付き添い対応するように工夫している		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の方で他者の入室を拒否される方については、ご自分で居室の鍵を管理され鍵をかけていらっしゃるが、本人さまが管理されていない居室については施錠することはない		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者様によっては、玄関より出て行かれる方もいらっしゃるため、常に所在確認を行っており、危険行動をされていらっしゃらないかなど見守りを行っている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の状況に応じて対応しており、注意を促すなどしている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ホームとしての指針は作成してある。個々の避難経路杜うに関しては避難誘導のときに確認できている	○印 (取組んでいきたい項目)	個々の避難誘導に際しては、文書化しておく必要があるもので今後文書化していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時の対応マニュアルを作成し、急変時の対応や応急手当はできるようにしている。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に、老人ホームと合同で避難訓練を実施している。また近隣施設に緊急時の応援を依頼している。自然災害を予定した避難訓練が実施できていない	○印 (取組んでいきたい項目)	自然災害を予定した避難訓練の実施を行う
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ケアプランの作成時や面会に来られた際に近況報告をすると共に、起こりうる危険についても説明し、理解を得ている。また病気に関する場合には主治医より家族に説明してもらうようにしている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	異常などが見られた場合は、訪問看護へ連絡し指示を仰ぎ必要に応じて病院受診など行い対応している		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の状況に合わせた対応をしており、薬の変更などがあった場合などは申し送り用紙に記入し職員への周知を行っている。また薬剤の効能書きもファイリングして閲覧できるようになっている		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	補水の時間を設けており、声かけにて水分補給をしていただくようにしている。また排便チェック表を利用し便秘にならないようにしている		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	個々の状態に合わせて、声掛け誘導をおこなったり、介助を行い口腔内の清潔に勤めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック表を作成し、食事量のチェックを行っている。食事量の減少が顕著にみられる利用者においては高カロリー食を用意している		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し、スタッフの私生活面でも注意をするように促し、食中毒の警報などが出た場合は関連施設の栄養士より情報を入れてもらい、その都度職員に注意を促している。また消毒や食品の利用などにも注意をしている		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食品を定期的に確認し、必要に応じて処分している。またまな板などの調理器具も随時消毒を行い清潔を心がけている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先には花を飾ったりして、家庭的な雰囲気作りに努め、面会者も気軽に出入りできるように心がけている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には、季節の花や果物などを飾ったりしている。また気候の良い時には窓を開け外の空気を感じながらレクリエーションをするなど居心地良く生活できる工夫をしている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ハード面でソファを置いたりする場所の確保が難しいが、利用者同士で気の合う方と連れ立って食堂で話をしたり、一緒にすごしたりされている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に使い慣れた小物を持ち込んでいただくように声掛けを行っている。利用者によってはソファやテーブルなど居室においていらっしゃる方もおられ、ホーム側でも本人様が気に入られる居室作りが出来るように支援している		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温度・室温計を共用空間には設置している。また定期的に換気を行い過ごし易いように冷暖房などで調整している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な利用者に関しては、居室に手摺を設置したりしている。また躓き易い障害物を取り除いたり滑り止めの靴下を履いていただくなど個々にあわせて対応している		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	出来る事と困難なことをスタッフは常に把握するように心がけており、利用者に合わせた声掛けや手伝いなどをお願いし出来る事は御自分でしていただくように支援している。また出来ない事はさりげなくスタッフが手伝うようにしている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	気候のよい日はベランダでレクリエーション活動を行ったり、お茶会や食事会を行っている		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

当ホームでは、利用者様とご家族との関係性が保たれるように、外泊や外出などされた場合には食費を免除している。また面会時間も設けておらず、気軽にホームでの面会が出来るように心がけている。他レクリエーションでは外気浴を兼ねてベランダで茶話会や昼食会を行ったりやしてホーム内に引きこもりにならないようにしている。健康管理面では医師の定期的な往診や訪問看護との契約を行い健康で楽しく過ごせるように支援を行っている。